

## WebSAM JobCenter 適用事例

# JobCenterによる 企業定型業務処理の高可用性自動運用

### ■ ジョブ管理におけるお客様の課題

A社は中堅の製造業メーカーです。社内の生産管理システムや販売管理システム等において、毎日生産レポートの生成や毎週売上データの集計といった定期的に行われる処理が多数あります。これらの作業は決められた流れに沿って行う必要があります、一部では一定の条件が満たされた後に行わなければいけない処理もあります。これらのほとんどはオペレータが手動で行う作業でした。1日200項目以上もあり、かつ大半は夜間に行われるため、担当者が24時間ずっと居なければならず、大きな運用コストがかかる上、新規業務の追加に伴う処理順序の変更が発生するような場合には、変更前後の綿密なチェックが必須となり、こちらにも多大な工数がかかっていました。手動での作業のため、操作ミスが発生しやすく、いつ大きな問題が発生してもおかしくはない状況であるということがA社の最大の課題でした。

業務を分析したところ、A社の業務システム処理は工程化・規範化しており、定期的に行われる定型処理が非常に多いということがわかりました。A社はこの定期的な定型処理をなるべく管理者に負担をかけずに、安全かつ安定して運用できるソリューションで課題を解決できると考えたのです。

そして、選ばれたのがWebSAM JobCenterです。ジョブ管理ソフトウェア『WebSAM JobCenter』は、複数の異なるプラットフォームのサーバに分散された業務（ジョブ）をお客様の環境に合わせて柔軟に自動制御することによって、円滑な業務の運用を実現し、運用コストを削減します。

導入システムでは従来の分散していった業務サーバを業務管理サーバ上のJobCenterで集中的に管理することができますし、管理者はGUIの画面上で全社システムのすべてのサーバの業務をジョブネットワークとして定義し、定義されたジョブネットワークを業務の流れに沿ってスケジューリングします。そして業務管理サーバはスケジュール通り各業務サーバに業務処理の要求を指示します。実行状況などもビューアから一目で確認できます。また、業務サーバで障害が発生した際も業務管理サーバ上のJobCenterがそれを検知して管理者にメール通報す

ることもでき、業務処理を自動実行する環境の可用性向上も実現されています。

### ■ 業務の一元管理および 処理の自動化によるコストダウン

A社では、3交代を基本とする24時間体制での運用管理に6人の管理者を必要としていました。

JobCenter導入以前、管理者は様々な業務の運用をほとんど手動で行っていたために、運用管理に多大な工数を費しており、200もの処理を行うためには、毎週、2人がかりで丸一日かけていました。また、週次や月次の処理を組み込むため、もしくはイレギュラーな夜間処理を組み込む際には業務全体の変更を行うなどのオーバーヘッドが生じてもいました。

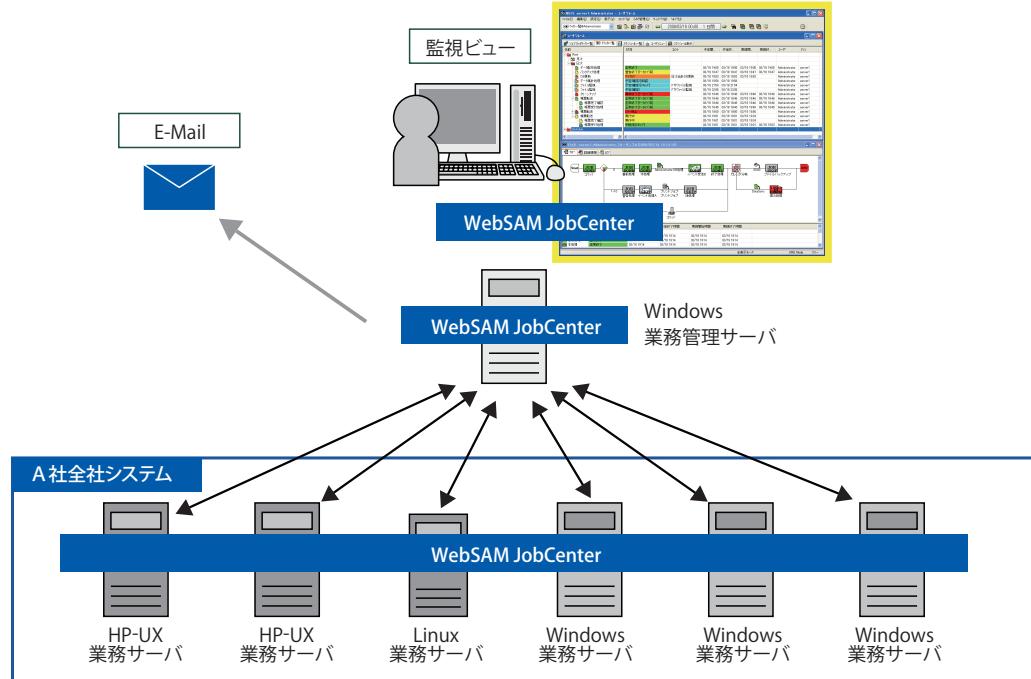
JobCenterでは、管理者はGUI画面で一つ一つの業務を部品として作成し、「時刻指定して処理」「並列的に処理」「順番通りに処理」「条件を満たして処理」といった処理を日常業務の流れに沿って一連のフローとして作成し、ひとつの大きな業務フロー（ジョブネットワーク）を作成します。システムは作成された業務フローの定義に沿って自動的に処理を行います。障害が発生した際に管理者が業務フローの進行をコントロールし、回避・再実行・強制終了の操作を行うことができます。

A社では、JobCenterによるシステム導入後、2人で丸一日を必要としていた処理が初期設定にジョブネットワークの定義を行なうだけで、次の週からは特別な処理があった場合は、フローの見直しだけで済み、業務の運用が週2～3時間ですむようになりました。また、業務は自動的に処理しますので、人手による設定ミスも防ぐことができ、イレギュラーな処理の組み込み要求に対しても組み込みによる他ジョブへの影響をGUIから容易に確認することで安全かつ柔軟な運用を可能にしました。

### ■ 自動障害回避

A社の従来の業務システムでは予測できる障害でも、管理者の対応は「発生してから」になるため、スムーズに処理ができず、非効率化な運用を行なっていました。

## WebSAM JobCenter導入後システムイメージ



分離していた業務サーバを集約し、新統合基盤を構築。  
システムの可用性向上を目的に、業務処理の自動実行環境を実現した。

JobCenterを用いた新しいシステム導入後、業務処理の実行中にエラーが発生すると、JobCenterはそれを検知し条件分岐機能により発生事象毎にあらかじめ設定された障害対応の処理が自動的に実行されます。また、JobCenterのコンティニューブル品機能により実行失敗したジョブを自動的にリトライすることで業務処理の停止を回避することができるようになりました。

### 業務の監視およびメール通報機能で 障害対応をスピーディに

従来のシステムでは、業務を監視するために、各業務サーバーにログインしてシステムから出力されるログをチェックする方法しかありませんでした。専門知識のない作業者には対応が難しいほか、全てのログを確認する必要があるため多大な時間と工数がかかります。また障害発生時も、管理者がチェックを行っていなかったため把握できなかったり、すぐに障害を発見できなかったことで、迅速な対応が難しく、障害をさらに拡大し、大きな損害を発生する危険性もありました。

新システムを導入後、JobCenterは業務の実行状況をリアルタイムで記録し、専門知識のない作業者でもGUI画面で随時状況を確認できるようになりました。また、JobCenterが提供するメール通報機能により、管理者は障害が発生した場合でも、リモートから障害の基本情報を取得し、迅速な障害対応を実現することができました。

「JobCenterを導入後、業務の効率が大幅にアップされ、障害発生も減少し、コスト削減が実現できました。今回は全社シス

テムをベースに、今後はグループ会社全体の統合運用システムとして展開したい」と同社の担当者は、導入効果と今後の展開を述べます。

こうして、同社は、JobCenterによるソリューションを活用して、信頼性の高いIT基盤を確立しました。この新基盤が今後、同社の環境変化にも柔軟に、タイムリーな対応を支えていくはずです。

**WebSAM**

お問い合わせは、下記へ

N E C I T プラットフォームマーケティング本部  
(ソフトウェアお問い合わせ)

〒108-8425 東京都港区芝五丁目33番1号(森永プラザビル)  
TEL:03(3798)7177 FAX:03(3798)8414  
【受付時間】9:00~12:00 / 13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日:N E C所定の休日を除く)  
E-mail : contact@softj.jp.nec.com